

生徒・保護者・教職員アンケート結果

令和3年2月26日

練馬区立開進第二中学校

令和2年度 よりよい学校づくりを目指して

保護者の皆様におかれましては、日頃から学校に対してご理解やご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、令和2年12月にお願いいたしました、学校評価アンケートには、多くの皆様からご回答をいただきありがとうございました。集計結果を以下のようにまとめましたので、ご覧ください。皆様からいただいた貴重なご意見を参考にして、令和3年度の教育活動を進めてまいりたいと思います。なお、設問によって、「分からない」の回答や未記入などがある場合は、合計が100%になりませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

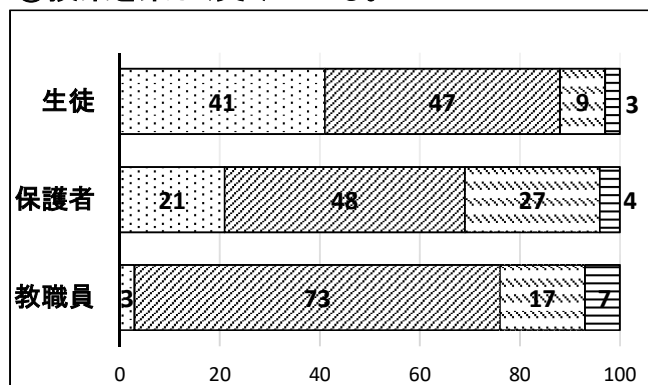
《グラフの見方》

■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

アンケート回答数 生徒:355名(94%) 保護者:339名(90%) 教職員:30名(100%)

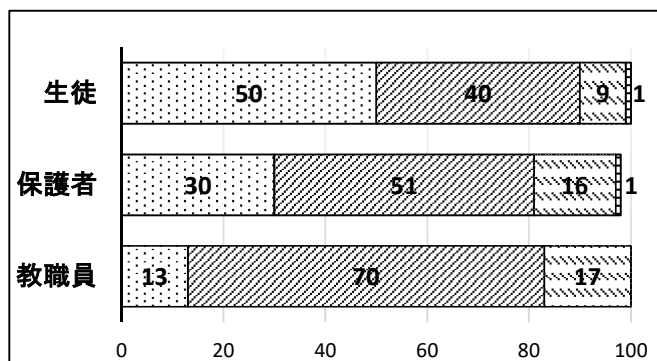
1. 学習指導について

①授業を楽しく受けている。



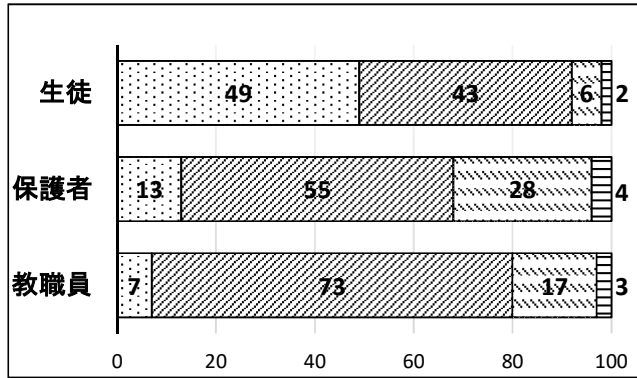
生徒の88%、保護者の69%、教職員の76%が肯定的な評価をしていました。今年度は、感染防止のため、教員も制約された中で、「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた授業実践をしてきましたが、生徒の評価は高評価でした。今後とも、感染防止対策をしっかりと講じた上で、保護者にも生徒が楽しく主体的に授業を受けていることを実感していただけるような授業づくりを実践するとともに、保護者への情報発信にも一層努めてまいります。

②感染対策の上、考えたり話し合ったりする授業が行われている。



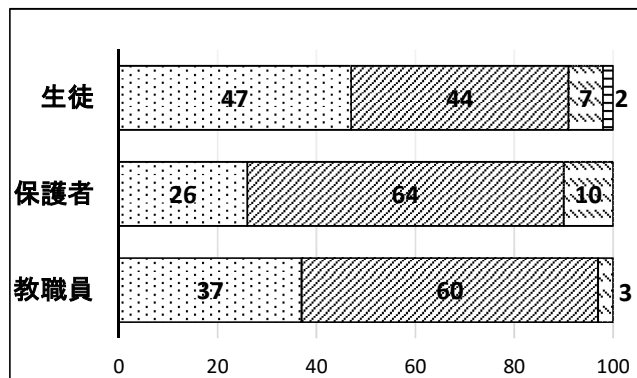
生徒の90%、保護者の81%、教職員の83%が肯定的な評価をしていました。どの教員もフェイスシールドの活用や生徒間の距離を空けるなどの工夫を講じた上で、考えたり話し合ったりする場面を授業に位置付けていました。次年度に向けて、新学習指導要領の実施に伴い、生徒一人一人の自己肯定感や多様性を認め合う心を育むための授業研究を一層進めていくとともに、コロナ禍でどのような取組ができるのかについても研究してまいります。

③ICT機器の活用など、分かりやすい授業が行われている。



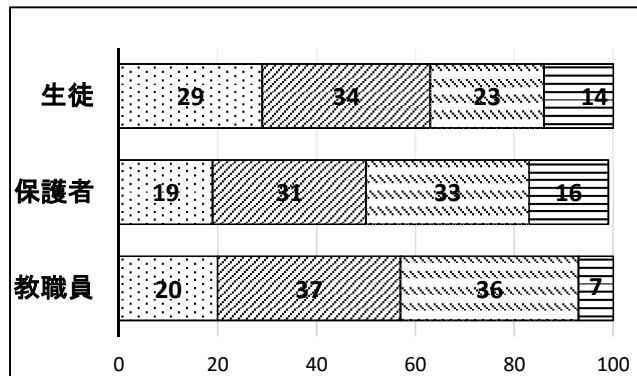
生徒の92%、保護者の68%、教職員の80%が肯定的な評価をしていました。生徒に比べ保護者の肯定的な回答の割合が低くなっていました。今後に向けて、保護者に対しては、ICT機器を活用した授業の様子をこまめに発信していくとともに、1人1台のタブレットの配置に伴い、タブレットを活用した授業づくりについての研修を進めていきます。次年度に向けて、分かりやすく工夫のあるハイブリッド型の授業づくりを目指してまいります。

④授業の進行や学習成果の評価は適切に行われている。



今年度は、臨時休校の関係で指導計画の変更が生じましたが、生徒の91%、保護者の90%、教職員の97%が肯定的な評価をしていました。次年度に向けて、新学習指導要領の実施後も適正な評価を行うために、新しい評価の観点（「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」）の評価方法等についての研修を進めてまいります。また、「指導と評価の一体化」の視点に立った授業づくりについても、一層の改善を図ってまいります。

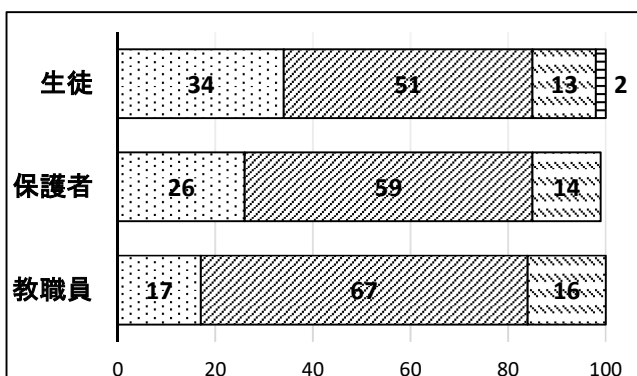
⑤家庭における学習時間は、6月の学校再開時に比べ増えてきている。



生徒の63%、保護者の50%、教職員の57%が肯定的な評価をしていました。コロナ禍とは言え、全体的に肯定的な評価は低かったと思います。特に、生徒の評価より、保護者や教職員の評価の方が低くなりました。また、1年生の評価が他学年の評価に比べ低かったです。次年度に向け、小学校と連携しながら、学び方や予習・復習などの学習習慣を身に付けるための指導法の研究を継続して行っていくとともに、今年度から新たに始めた「地域未来塾」の運営方法等についても検討してまいります。

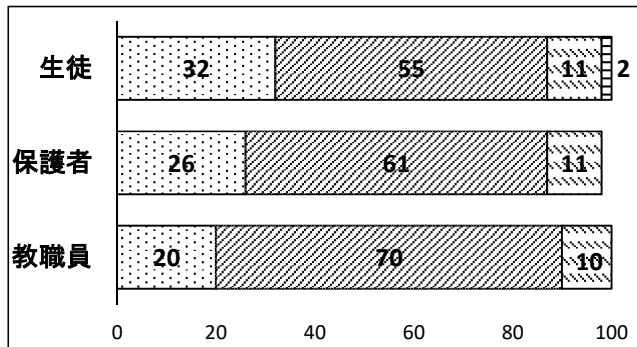
2. 人権教育について

①生徒は「思いやり宣言」を理解し、自覚と誇りをもって生活している。



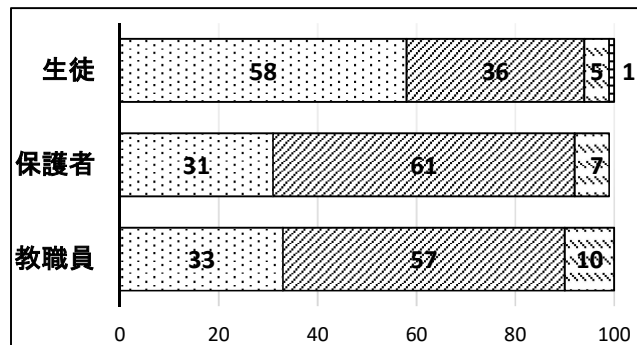
生徒の85%、保護者の85%、教職員の84%が肯定的な評価をしていました。特に、生徒の書いた内容について保護者の方からもコメントをいただいた、キャリア・パスポートについては、生徒の変容を見る上で一定の成果があったと思います。今後は、キャリア・パスポートを活用したキャリア教育を、本校の研究テーマである「自己肯定感を高め、多様性を認め合う生徒の育成」と関連させながら、一層充実させてまいります。

②生徒は思いやりをもち、みんなの人権を尊重する行動を取っている。



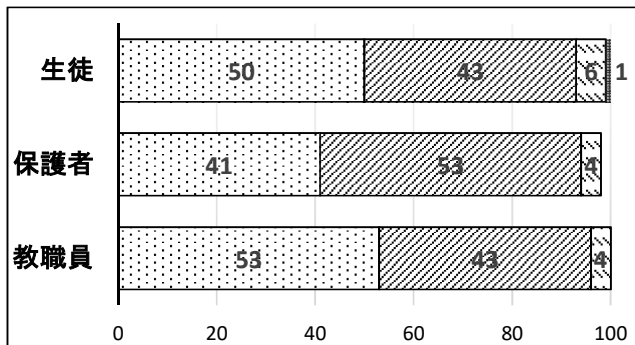
コロナ禍の中、東京都の人権尊重教育推進校の研究に則って、人権教育を進めてきましたが、生徒の87%、保護者の87%、教職員の90%が肯定的な評価をしていました。特に、今年度は、講師の先生方をお招きして、全教科で、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」と、人権教育プログラムで示す「協力的、参加的、体験的な学習」を融合させた研究授業を実施しました。その成果と課題を次年度の教育活動につなげて、本校の人権教育を一層充実させてまいります。

③自他ともに大切にし、思いやりの心を考えた道德教育が行われている。



生徒の94%、保護者の92%、教職員の90%が肯定的な評価をしていました。特に、今年度は、コロナ禍の中、思いやりの心の育成やいじめの未然防止に向けて、道德の授業を充実させたことが、高評価につながったと考えます。今後とも、人権教育と関連させて、生徒たちの道德的価値を育むために、道德の評価方法についての精度を一層高めていきたいと考えます。また、道德授業地区公開講座に参加された保護者の方からも貴重なご意見を頂戴しました。これらのご意見も次年度の教育活動に生かしてまいります。

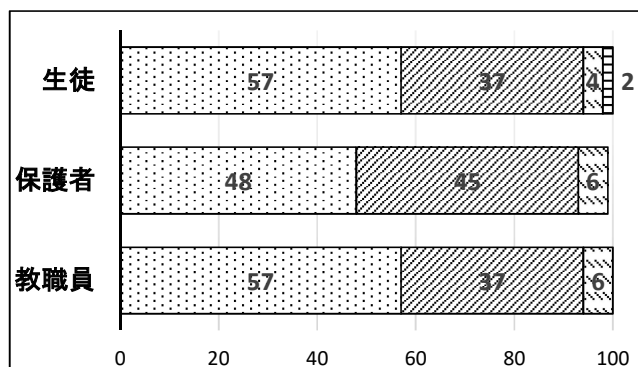
④学校は、教室の掲示物や環境美化、清掃活動をきちんと行っている。



生徒の93%、保護者の94%、教職員の96%が肯定的な評価をしていました。特に、人権教育を推進していくためには、生徒にとって、生活の中心となる教室環境の整備や美化が重要になってきます。今後とも、教職員に対しては、人権教育プログラム（学校教育編）の「見直してみましょう あなたの人権感覚」を意識させながら、環境美化をはじめ言葉遣いなどの言語環境の改善にも努めさせることにより、生徒の心に落ち着きや安らぎを与えるような環境整備を一層進めてまいります。

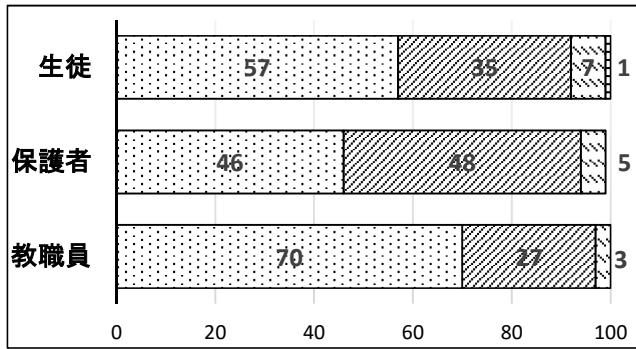
3. 生活指導について

①挨拶・時間を守る等の基本的な生活習慣を身に付ける指導が行われている。



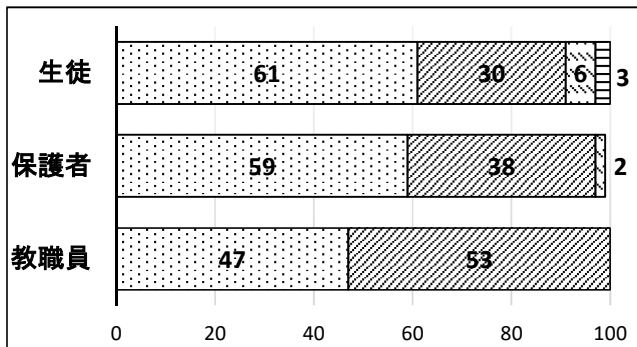
生徒の94%、保護者の93%、教職員の94%が肯定的な評価をしていました。学校再開時に比べ、生徒はだんだん大きな声で挨拶をするようになってきています。しかし、保護者からは、以前に比べ生徒の声は小さくなってきたというご意見もいただいておりますので、これからも挨拶で溢れる学校づくりに一層取り組んでまいります。また、時間ぎりぎりに登校する生徒もいるので、時間に余裕をもって行動できるように引き続き指導を行ってまいります。

②生徒の健康や安全について配慮しながら適切な指導が行われている。



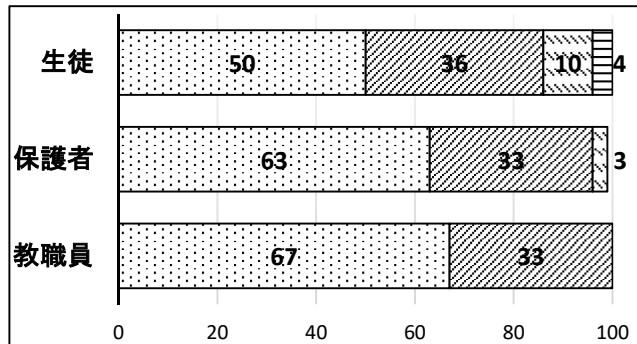
生徒の92%、保護者の94%、教職員の97%が肯定的な評価をしており、生徒、保護者、教職員とも肯定的な評価が非常に高い結果となりました。今後とも、感染防止対策を踏まえた指導を行ったり、避難訓練の方法等を改善したりすることで、日常生活の中に潜む様々な危険を予知したり、回避したりする能力を身に付けさせ、地域社会の安全に貢献できることをねらいとした安全指導を一層充実させていきたいと考えます。

③生徒は、部活動をはじめ委員会活動等に一生懸命取り組んでいる。



臨時休校後、活動時間の短縮や練習内容の縮減など、条件付きで行った活動ではありましたが、生徒の91%、保護者の97%、教職員の100%が肯定的な評価をしていました。今後とも、健康観察をはじめ手洗い指導や密にならないなどの感染防止対策を十分講じた上で、日常を通した健康・体力づくりを一層進めてまいります。また、生徒たちの社会性や公共性の育成につながるような部活動や委員会活動を実施することで、人権教育やキャリア教育の取組を充実させていきたいと考えます。

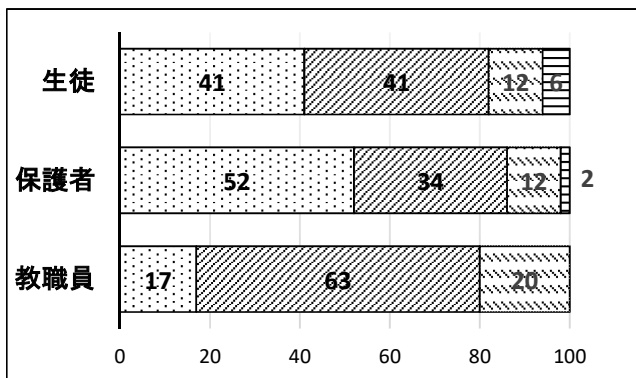
④感染対策を講じて行った運動会などの行事は学級作りに役立っている。



生徒の86%、保護者の96%、教職員の100%が肯定的な評価をしていました。生徒より保護者の評価の方が高い結果となりました。時間差を設けて学年別に縮小した形で行った運動会でしたが、本校の校庭が23区で最も広い校庭であるという特色を生かして、密にならないよう多くの保護者の方々に参観していただいたことは大変良かったと思います。よりよい学級や集団をつくることは、いじめの防止などにもつながるので、今後とも工夫を重ねながらこのような取組を実施していきたいと考えます。

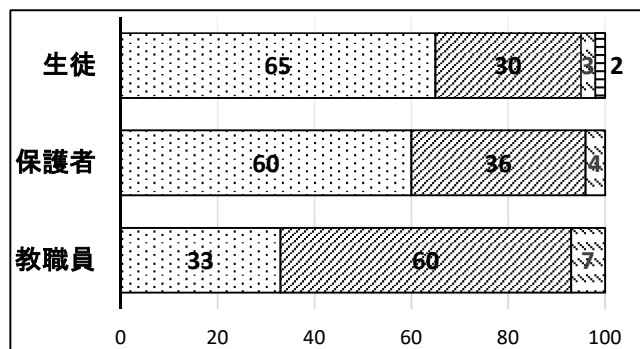
4. 教育相談について

①生徒は学校に行くことを楽しいと感じている。



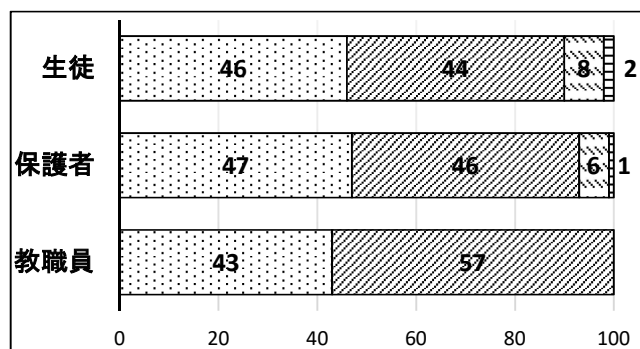
生徒の82%、保護者の86%、教職員の80%が肯定的な評価をしていました。今年度は特に、いじめの未然防止に向けて、生徒たちの「居場所づくり」と「きずなづくり」につながる学級経営を重点的に行いました。また、教職員に対しては、いじめの防止に向けた定期的な研修会や全教員による見守り活動を実施したり、関係諸機関が参加するサポートチーム会議を開催したりしました。次年度もこれらの取組を継続していきたいと考えています。今後とも、授業、学校行事、部活動など、様々な場面を通して、生徒が楽しさを実感できるような環境づくりを進めてまいります。

②保護者は、子供を安心して登校させている。



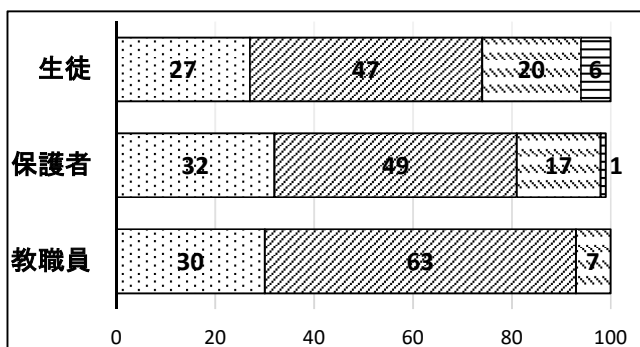
生徒の95%、保護者の96%、教職員の93%が肯定的な評価をしていました。保護者からは、「コロナ禍の中、安心して子供を登校させることができて、感謝しています」という趣旨のご意見を多数いただきました。コロナが終息していない中、今後とも、保護者が安心して子供を登校させるための取組を徹底して行います。また、いじめや不登校などの未然防止や初期対応のさらなる徹底を図るとともに、保護者への連絡の迅速化や保護者との連携の緊密化に一層努めてまいります。

③教職員は、生徒に対して親身になって接している。



コロナ禍の中、今年度は特に、教職員には、生徒への心のケアなど、常に生徒の心に寄り添って支援をするよう指導してきました。その結果、生徒の90%、保護者の93%、教職員の100%が肯定的な評価をしていました。これらの評価は、全教職員が一枚岩になって取り組んだ成果であると思います。改めて、次年度に向けて、全教職員が生徒の心に寄り添いながら、人権教育を柱にした学習指導や生活指導を一層充実して行うよう指導してまいります。

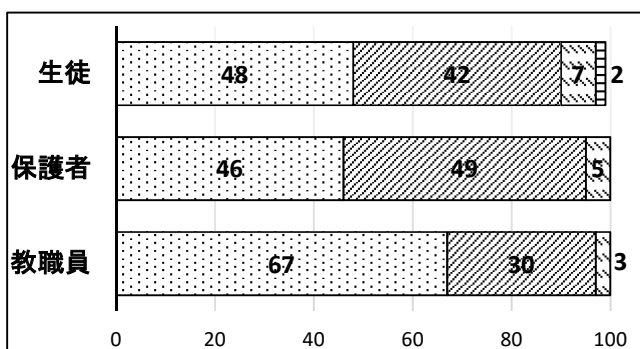
④学校は、生徒や保護者にとって相談しやすい場となっている。



生徒の74%、保護者の81%、教職員の93%が肯定的な評価をしていました。特に、生徒の評価が、保護者よりも低い結果となりました。次年度に向けて、学校が生徒や保護者にとってより相談しやすい場となるために、生活指導や特別支援教育に関わる教育相談活動を、スクールカウンセラー、特別支援教室専門員、心のふれあい相談員、学校生活支援員、関係諸機関などとの連携を強化しながら進めていくとともに、生徒や保護者への情報発信もさらに充実させてまいります。

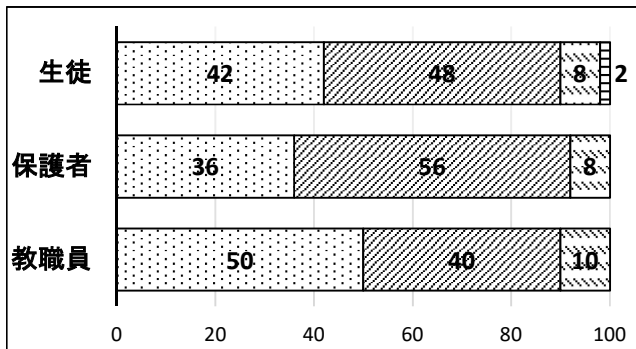
5. 学校運営について

①学校は、学校だより・HP等で教育活動を分かりやすく伝えている。



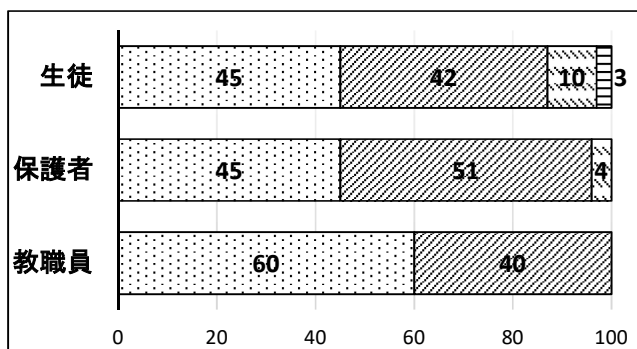
今年度は、臨時休校もあり、昨年度以上に学校からの発信回数を多くしました。その結果、生徒の90%、保護者の95%、教職員の97%が肯定的な評価をしていました。次年度に向けて、学校の様子を一層理解していただくために、学校だよりや学年だよりの定期的な発行や、ホームページによる発信を充実させていくとともに、適時性ある発信にも努めてまいります。

②学校は、PTAや保護者との連携を大切にしながら教育活動を進めている。



コロナ禍で、PTA活動は例年より少なかったものの、運動会では、PTAや父親の会の方々にお手伝いをしていただき感謝申し上げます。また、生徒の90%、保護者の92%、教職員の90%が肯定的な評価をしていました。今後とも、PTAや保護者との連携を一層深めながら、限られた条件下で、回数よりも質を重視した活動が行えるよう取り組んでまいりたいと思います。また、PTAの方々と相談して、道徳や情報モラル等に関する研修活動にも取り組んでいければと考えております。

③学校は、感染予防(健康観察・手洗い指導など)を適切に行っている。



感染防止策を適切に行うことは、今年度の最重要課題でありましたが、生徒の87%、保護者の96%、教職員の100%が肯定的な評価をしていました。そして、感染防止に向けて、全教職員が、生徒への指導とともに、給食の配膳や消毒など、本当に一生懸命取り組んでくれました。今後とも、コロナ禍が続く中、保護者の理解を得ながら、区のガイドラインに則って、適切に感染防止対策を進めてまいります。また、次年度の教育課程も、その点を考慮して編成してまいります。

この度は、お忙しいところ、令和2年度の学校評価アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

さて、今年度は、感染症拡大の防止に向け、当初計画していた教育活動を中止にしたり、縮小したりしたため、十分な取組ができませんでした。生徒たちは、この困難を乗り越え、立派に学校生活を送ってきました。また、制約された中で、全教職員が、生徒たちのために授業や学校行事等の在り方を常に考えながら、一枚岩となって取り組んできました。アンケート結果からは、家庭学習の定着などで課題はありましたが、全体的には肯定的な評価を多くいただき、ここまで一生懸命取り組んできた教職員にとって、大きな励みになる結果だったと思います。

今、学校では、学校評価の結果や様々ないただいたご意見を参考に、コロナ禍を踏まえた詳細な教育計画を策定しているところです。来年度も、感染の状況によっては、変更や中止などが生じる可能性はあると思いますが、感染対策をしっかり講じた上で、生徒たちの成長につながり、そして、生徒たちにとって少しでも思い出に残るような教育活動を実施していきたいと考えております。今後とも、保護者の皆様と力を合わせながら、生徒たちの未来に向けた教育に取り組んでまいりますので、引き続きご支援やご協力をお願いいたします。なお、ご意見やご質問等がある場合は、いつでも学校までご連絡をいただければ幸いです。

練馬区立開進第二中学校 校長 指田 和浩